



あたより

はびねす nursery school

2022年
12月号
NO.9

カレンダーもあと一枚。今年も残り少なくなってきました。

“師走”といわれるだけあって、過ぎていくのが早いですね。

これから寒さが一段と厳しくなり、空気も冷たく乾燥しはじめます。

コロナウイルス感染症をはじめ、冬場の感染症に気を付けて、にぎやかで楽しい行事が多い12月を元気にすごしたいと思います。

12月生まれのおともだち

たにもと	なのかちゃん (平成28年12月10日)
おおはら	あおいちゃん (平成28年12月13日)
いわさき	こうたくん (平成28年12月13日)
いたばし	ひいろくん (令和元年12月20日)
いたばし	まひろくん (令和元年12月20日)
ひの	はなみちくん (令和3年12月22日)

〈冬至 12月22日〉
一年で一番昼が短く、夜が長い日です。この日に柚子湯に入ると風邪を引かないといわれています。香りの強い柚子は、昔から邪気を払うとされています。また、かぼちゃを食べる風習もあります。
かぼちゃは保存が効き、とても栄養があります。いろいろ工夫して、おいしく食べてください。

クリスマス

“クリスマスには、サンタさんがよい子にプレゼントを届けてくれる”と夢をもっている子どもたち。
「サンタさんはどうしてプレゼントをくれるのかな？」
「どうしてみんなが寝ている時に来るのかな？」…子どもたちと話し合ってみようと思います。はじめから答えを与えるのではなく、考える時間を大切にしたいと思っています。どんな答えが返ってくるのか楽しみです。

クリスマスツリー…モミの木は冬になっても枯れず、力強い緑色の葉は屈強な生命力や永遠の命の象徴とされています。
子どもたちがいつまでも元気でいられるように、と願いながらみんなでツリーの飾りつけをしたいと思います。

クリスマス会…12月24日(土)です。
運動会でしっかりと体幹が鍛えられ、大きく成長した子どもたち。今度は、うたや踊り・楽器・劇などを通して心が成長した姿を見ていただきたいと思います。がんばっている姿をどうぞお楽しみに！詳しくは後日お知らせします。



〈もちつき〉
12月に入るとあちらこちらの家から“ベツタン、ベツタン…”と威勢のいいもちつきの音が聞こえていましたが、最近では、家庭で“もちつき”をする習慣がぐっと減ってきましたね。
園では、日本の年末の伝統行事に少しでも触れさせたく子どもと一緒に“もちつき”をします。
年末にもちつきを行うのは、おもちをお供えしてお正月の神様を迎え、一年の豊作や家族の健康をお願いするためです。神様の力をいただいたおもちを、食べると生命力や力がつくときれ、めでたい日の食べ物として広まったそうです。昔のもちつきの様子を伝えながら、みんなで楽しみたいと思います。12月15日の予定です。
エプロン・三角巾を忘れないように！
早く準備できた方は、持ってきてください。園で預かります。

保健 低温やけどに注意！

ホットカーペットや使い捨てカイロなど長時間接触することで、低温やけどが起こります。高温でないため、熱源に触れても熱さや痛みを感じにくく気付いた時には、皮膚がダメージを受けていることがあります。痛みがなくても肌が赤いなどの症状があれば、必ず受診してください。

先月はRSウイルス感染症がまん延し、連日お休みが多くて大変心配しました。鼻水・咳がひどくて中耳炎をひき起こした子もいました。これから寒さに向かって冬場の感染症が多く出てくるのが予測されます。保育園は小さい子の集団です。少しでも気になる様子が見られたら早く受診し、しんどくつらい日が一日でもなくなるよう十分に気をつけてください。

就学前健康診断が終わりました。

今年度はびねす nursery school を卒園する子は8名です。
金栄小学校・惣開小学校・泉川小学校・垣生小学校・神郷小学校と入学する学校は違いますが、先日、全員無事に就学前健康診断を終えることができました。
“ドキドキしたよ”、“お姉ちゃんが優しくだったからうれしかった”、“知らないお友達ともお話したよ”…等々、うれしい報告がありホッとしました。
保護者の皆さんのほうが、子ども以上に緊張したと思いますが、子どもの持っている力を信じて、後押しをしてあげてください。卒園には、一抹の寂しさがありますが、成長を確認しながら、元気で年長児の仕上げにとり組んでいきたいと思っています。

〈大晦日〉

毎月の最後の日を「晦日」と呼び、12月の晦日(31日)は一年の終りという意味で「大晦日」といわれるようになりました。年の湯(大晦日の夜に入るお風呂)に入って一年をふり返ったり、年越しそばを食べ、長寿や健康を願い、新年を迎える準備をしましょう。

食育 「ものがたり」で食を知ろう！

“食に関するおはなし”を読み聞かせることで、子どもたちの「食」への興味を引き出したいと思います。

「ジャックとまめのき」
まめの仲間のサイズは“畑のお肉”と呼ばれ、肉や魚と同じくらいタンパク質が含まれています。まめのタンパク質は、血や筋肉になります。

「さるかにがっせん」
カキは、秋の味覚の代表で、甘くてビタミンCが豊富。栄養価が高く、昔の人は「カキが赤くなれば医者が青くなる」と言っていたほどです。(カキを食べると元気になる、病院へ行かなくなるので医者の仕事が減る、というたとえ)
カキの木の幹は家具に、実は食用、葉はお茶に、また、カキの渋は防腐剤として用いられます。カキってすごいですね！

「ヘンゼルとグレーテル」
どんなお菓子の家に住みたいか…子どもたちと話し合ったり、絵に描いたりしてみようと思います。お菓子は、たくさんのお砂糖を使うので、とても甘くていいにおいがしておいしいですね。もう一つ、あとこれだけ…と手が止まらなくなりますね。でも、くれぐれも食べすぎに気をつけて楽しくおいしく召し上がってください。

「しらゆきひめ」
科学者アイザック・ニュートンがリンゴが木から落ちるのを見て「万有引力の法則」という引力の決まりを発見しましたね。リンゴは種類が多く、ジャム、ジュース、紅茶、パイなどいろいろな食べ物に加工して食べられています。他にも食べ物が出てくるおはなしたくさんあります。お子さんと話し合っ、見つけてみてください。そして、教えてください。園でもとり上げて楽しく食育につなげていきたいと思っています。